

福祉事業

問 住民の声に答えた福祉循環バスを運行する考えは

答 平成十二年に福祉タクシーと循環バスを比較検討し福祉タクシーで実施しています。現在の制度に課題があることも承知していますが、特に病院等に近い人と遠い人との制度利用に格差があることで検討した結果、同時に二枚使用できるように制度改正を進めておりました。しかし合併前に旧制度の説明をさせていただきましたので、混乱を避けるために本年度は旧制度で実施させていただき、福祉タクシーの見直しと合わせて循環バスを運行している市町村を視察したり幅広く研究していきたいと思えます。



明るいまちづくり

問 防犯灯の維持管理に対する考えは

答 本年五月末現在の町内会より三十五件要望があり、それなりに市として対応しております。防犯灯は地域の安全のために地域の皆様が考え、設置して頂くものです。尊いご負担をいただく中、市でも維持管理に補助する現在の制度を続けていきます。

問 教育長・教育委員不在は行政として問題では

答 委員の任期については新市長が最初に招集する議会の会期の末日となっており、実際は四月三十日まで教育委員会委員の人事案件が提案されればいい訳ですが、市長選挙後十日足らずで人事等を調整するのは大変困難でした。

問 市採用の臨時職員の職務内容と残業手当の問題は

答 業務によってやむなくお願いしている職員については当然時間外手当を支給しています。地方公務員法や労働基準法を参考に臨時職員の身分を補償しながら勤務条件を整備し今後改善すべきところは検討します。

問 原発に対する今後の課題と新エネルギーへの取組は

答 原子力発電は安全確保が大前提であって、地元住民

の理解と協力が得られて初めて成り立つものであり、市としましては地域住民に不安を与えることの無いように安全管理、安全運転に万全を期し透明性の向上に努力してもらいたいと考えています。また、住宅用太陽光システムを全市的に適用していくための予算計上をしました。さらに風力発電の可能性について調査します。

問 ヨウ素剤の全戸配布と、学校、幼稚園、公民館への分散配置は

答 服用に十分な注意と管理保管も的確に行わなければならない。現時点で御前崎市と近隣三町、御前崎、菊川、榛原の三病院、県健康福祉センターの榛原、掛川に分散配置されています。地域住民の安全を第一に原子力行政を推進してまいります。